



QUICK GUIDE  
**DIRACT**  
DIRACT VOICE

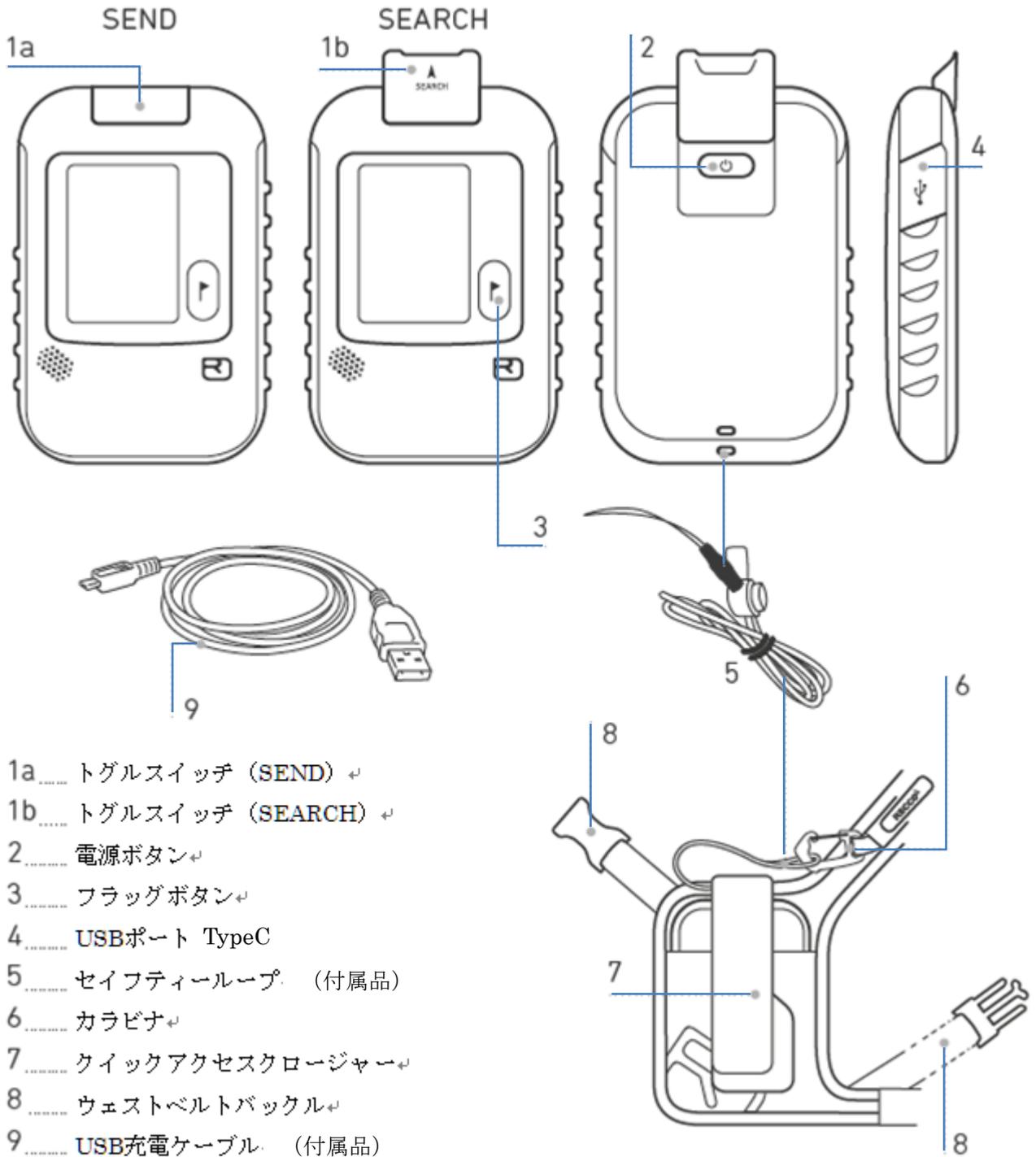
Software 1.0  
Version 03.2021

More information  
[ortovox.com/direct-start/app](https://ortovox.com/direct-start/app)

MADE IN  
GERMANY

**ORTOVOX**

# 各部名称



- 1a..... トグルスイッチ (SEND) ⇄
- 1b..... トグルスイッチ (SEARCH) ⇄
- 2..... 電源ボタン⇄
- 3..... フラッグボタン⇄
- 4..... USBポート TypeC
- 5..... セイフティーループ (付属品)
- 6..... カラビナ⇄
- 7..... クイックアクセススライダー⇄
- 8..... ウェストベルトバックル⇄
- 9..... USB充電ケーブル (付属品)

## 重要なお知らせ

雪崩トランシーバーは、雪崩を防止するものではありません。雪崩対策についての深い知識を持ち、バックカントリー・ツアーやフリーライドの外出をすべて適切に計画することが重要です。雪崩トランシーバー、ショベル、プローブを持たずに危険な場所には絶対に立ち入らず、日頃から安全装備の使い方を練習して、緊急時には万全の体制で臨みましょう。

ortovox.com safety academy では、お近くのコースの詳細をご覧ください。(ヨーロッパ、特にアルプス付近限定)

## 電源 ON/ 電源 OFF

ON/OFF ボタンを 2 秒間長押しすると、デバイスの電源の ON/OFF を切り替えることができます。デバイスをオフにした場合には、更に FLAG ボタンを押す必要があります。



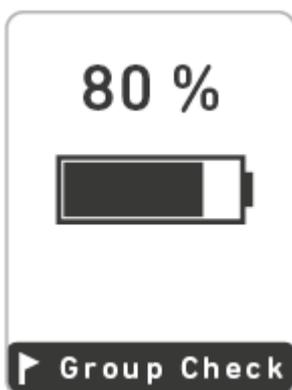
## 言語選択

言語は、初期設定時に選択することができます。別の言語に変更するには、FLAG ボタンを短く押します。その後、FLAG ボタンを 2 秒間押し続けて言語を選択してください。

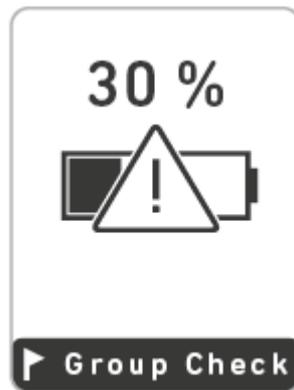


## セルフテスト、バッテリーテスト

トランシーバーは、起動するたびに自動でセルフテストを行い、バッテリー残量の状態を表示します。バッテリー残量が 40%以下になったら、できるだけ早く充電してください。ディスプレイに「Battery empty」と表示されている場合は、トランシーバーがすぐにでも充電切れになる可能性があります。



充電は充分です



早めに充電を



使用不可

### アプリの取得

ORTOVOX APP (Apple iOS & Android) は無料で取得でき、以下のサービスを受けることができます。

- ソフトウェアの定期的なアップデート（強くお勧めします！）
- 保証期間が 5 年間へ延長
- デバイスの登録（安全関連情報の取得）
- デバイスの設定変更

### 3 デバイスに警告が表示された場合

- ・電子機器や金属製のものから 5 メートル離れた場所へ移動してください
- ・電源を切り、再度電源を入れてください（再起動）
- ・同じ警告が再度表示された場合は、デバイスの検査が必要です



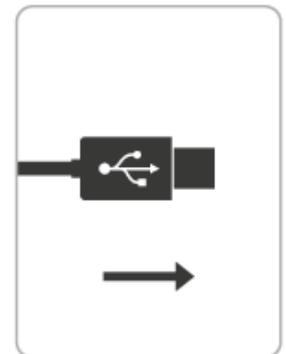
### 内部コンパスの調整

コンパスの調整が必要な場合は、デバイスが知らせてくれます。磁性体、金属、電子機器から 5 メートル離れてください。デバイスを水平に持ち、ディスプレイが消えるまで時計回りに数回回転させ、次に他の 2 つの軸を中心に回転させます。



### バッテリーの充電

付属の USB ケーブルを使って、電源（ノートパソコンなど）から直接、または USB プラグを使ってコンセントに差し込んで充電してください。充電後は速やかに電源から外し、再び充電口をゴムカバーで慎重に密閉してください。0°C以下での充電はできません。また充電中は、送信や検索ができません。



**Tips:** バッテリーの性能を向上させるために、

頻繁な短時間の充電は避けてください。

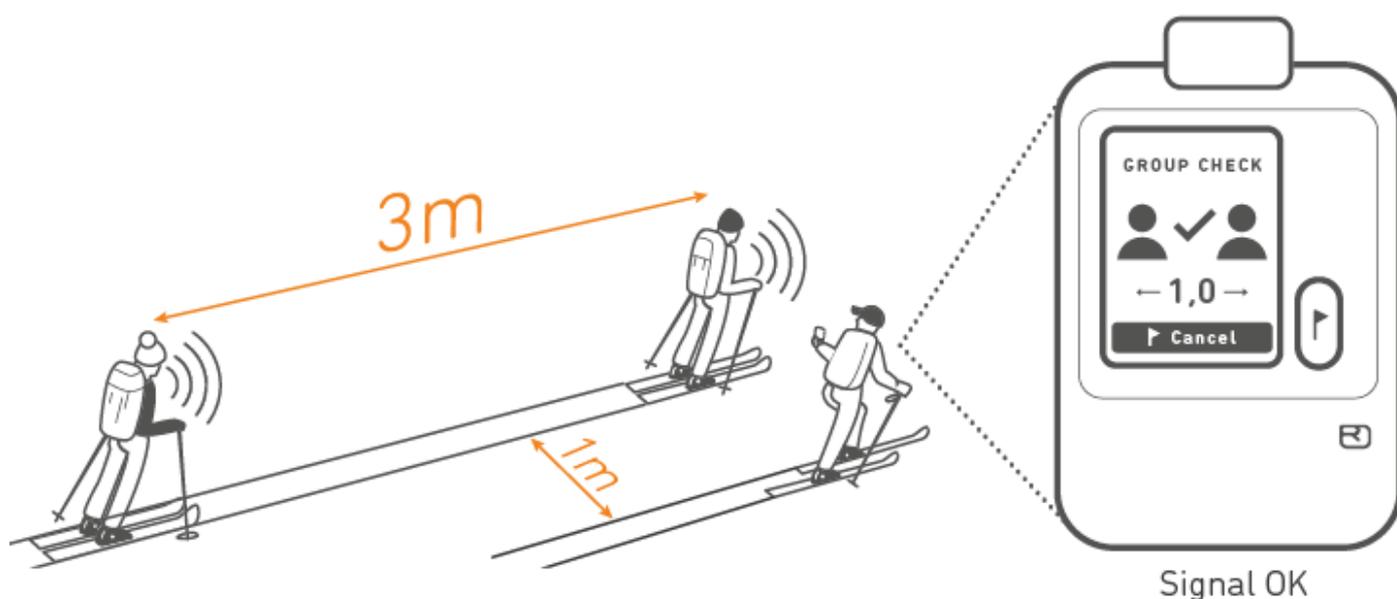
例えば、容量が 80%以上である場合には充電を行わないことが望ましいです。



## 保管方法

本機は、直射日光を避け、また高温多湿を避けて保管してください。数ヶ月間保管する（電源を付けない）場合は、まずバッテリーを **100%** 充電してください。保管したデバイスは、遅くとも **10** ヶ月後には再度完全に充電してください。

## グループチェック



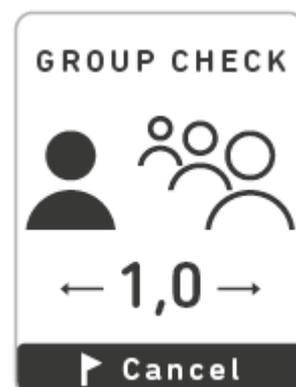
ツアーや滑降の前には、グループ内のすべてのトランシーバーをチェックする必要があります。グループチェックモードでは、他のトランシーバーが正しく送信しているかどうかをテストします。これを起動するには、本機の電源を入れ、**FLAG** ボタンを押します。テスト距離は **1** メートル、グループメンバー間の距離は **3** メートル以上にしてください。本機には結果と測定された距離が表示されます。



送信 OK



送信者の信号を受信できません



送信者が多すぎます

## 5 様々な干渉について

電子的、磁氣的、金属的な物体や機器は、当然ながら雪崩トランシーバーに干渉します。干渉源としては、スマートフォン、カメラ、無線機器、スポーツウォッチ、GPS 機器、パワーバンクや電線、スキーリフトなどが考えられます。

SEND (送信) モード、STANDBY モードでは、干渉源となり得るものをトランシーバーから 20cm 以上離す必要があります。

SEARCH (検索) モードでは、干渉源となり得るものをトランシーバーから 50cm 以上離す必要があります。他の電子機器の電源をすべて切るのが理想的です。

## SEND (送信) モード

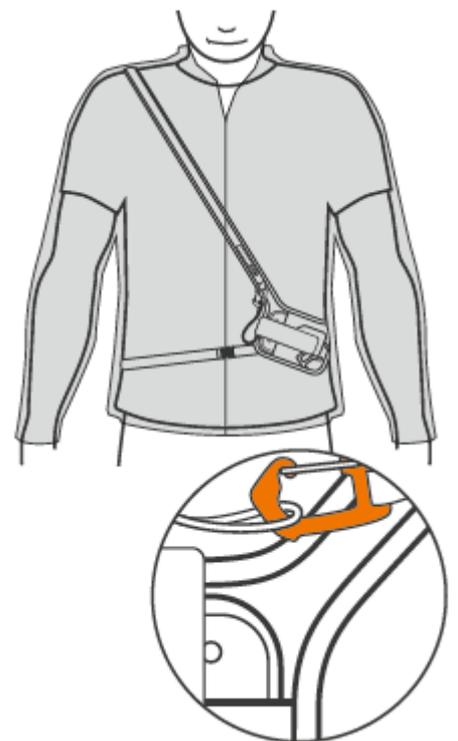
SEND (送信) モードは、雪崩の危険性がある地形での通常の操作モードです。トグルスイッチが SEND の位置にある場合、SEND ディスプレイが表示されます。電力を節約するために、デバイスがスタンバイシステムに入っているときは、トランシーバーはまだ送信していますが、このディスプレイはオフになります。(スリープモードのようなものです。) ディスプレイは、日光が当たるか、ボタンを押すことで再び表示されます。



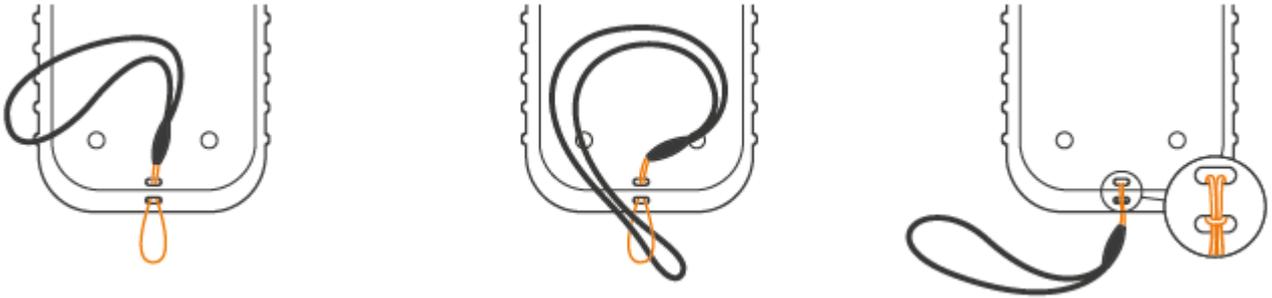
## 本体の持ち運びについて

セーフティーループをトランシーバーの底部にあるアイレットに固定します。トランシーバーは、キャリングシステムケースに入れて持ち運ぶことをお勧めします。ディスプレイ側を体に向けて、トグルスイッチが先に入るようにスライドさせて入れます。クイックアクセスクローゼージャーとウエストベルトのバックルは必ず閉じてください。セーフティーループをカラビナに通して、デバイスを固定します。

カラビナでデバイスを固定し、キャリングシステムケースは、常に1枚以上の衣服で覆われている必要があります。服を1枚しか着ていない場合は、トランシーバーをジップ付きのポケットに入れて持ち運ぶことをお勧めします(外のパッチポケットなどに入れるのはお勧めしません)。



## セーフティーループの正しい固定方法



## SEARCH（検索）モード

グループのうちの一人在雪崩トランシーバーを持って検索します。他の救助者は、緊急通報や掘り出しなど他の作業を行い、**STANDBY** モードに切り替えます。

**STANDBY** モードでは、自分の送信信号は一時的に停止されます。

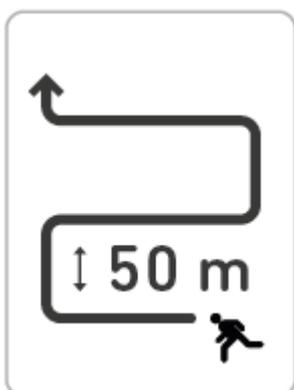
**SEARCH**（検索）モードを作動させるには、トグルスイッチを **SEARCH** の位置に開きます。**STANDBY** モードを作動させるには、**SEND** モードで **FLAG** ボタンを押し、トグルスイッチを開いて、再び閉じます。

## 二次雪崩によるモードの自動切換え

検索中に二次雪崩に巻き込まれた場合、動かないまま 2 分経過すると、トランシーバーは自動的に **STANDBY** モードから **SEND**（送信）モードに切り替わります。

## シグナルサーチ

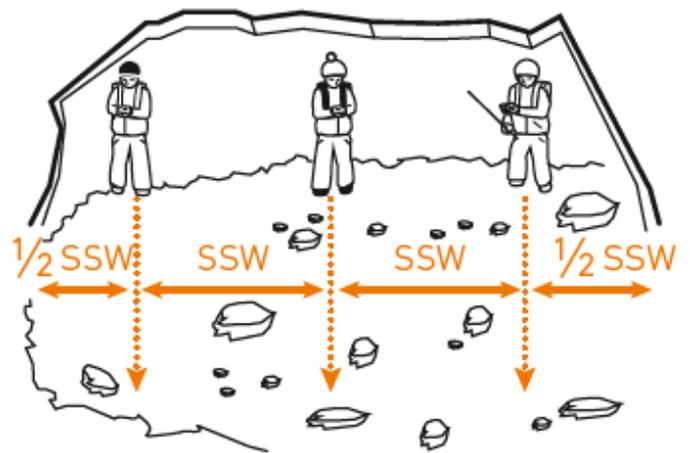
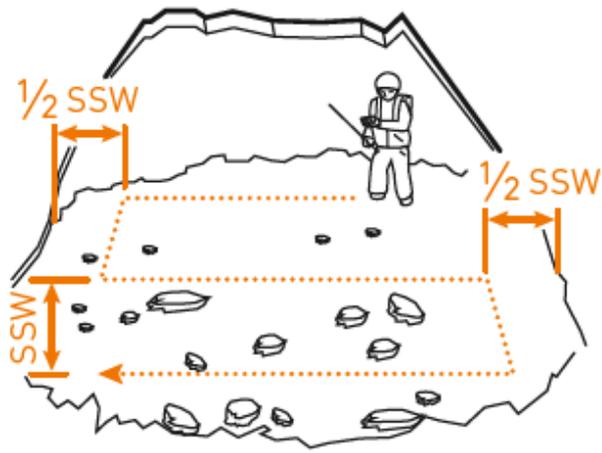
信号が表示されていない場合は、ディスプレイに表示されている最大サーチストリップ幅で雪崩のデブリを探索します。サーチストリップ幅は、周囲の状況に応じて自動的に調整されます。部分的に埋まっている犠牲者にも注意してください。デブリの端までの距離が、サーチストリップ幅（**SSW**）の半分以下であることを確認してください。



サーチストリップ幅  
= 最大 50m による  
シグナルサーチ



干渉が強い場所では、  
サーチストリップ幅  
が 20m 以下になるこ  
とに注意



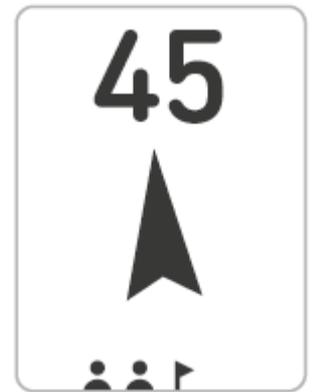
SSW = search strip width ※本機種においては 50m  
( $\frac{1}{2}$ SSW=25m)

## コースサーチ

信号を受信したら、トランシーバーを水平にして目の前に持ち、方向指示器に従って歩きます。距離表示が上がってきたら、反対方向を探してください。

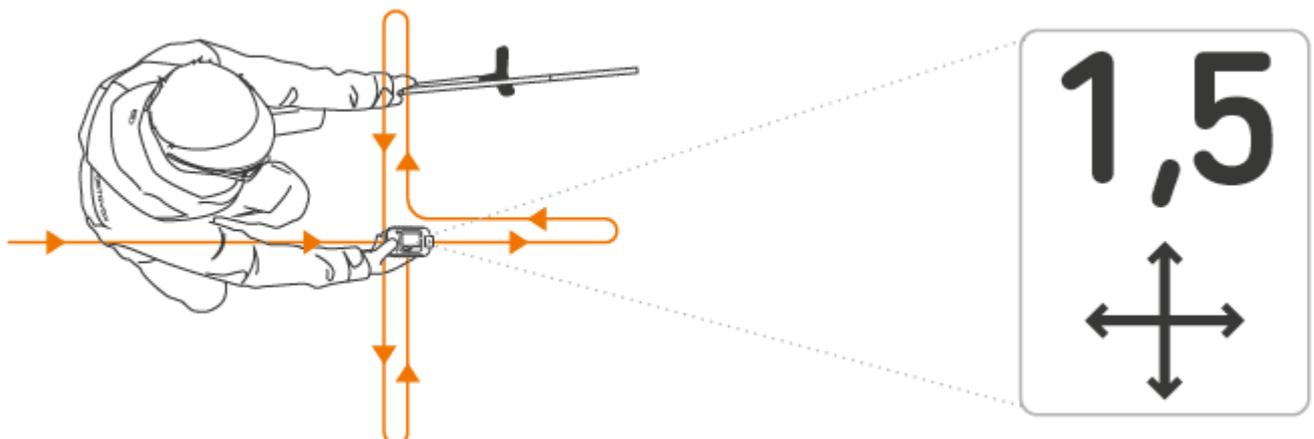
- ・ 10メートル以上：急いで移動してください。大まかな搜索方向はおおよそで構いません。
- ・ 10メートル未満：よりゆっくりと移動してください。

探索方向は、方向指示器と正確に一致する必要があります。



## ファインサーチ

埋没者が持つ端末から 3メートル以内になると、方向指示器が消えます。トランシーバーを雪面の上に近づけます。信号までの最短距離を決めるために、ゆっくりと正確に十字型にサーチします。この地点に物を置いて探査を開始します。



## プロービング、掘り出し、応急処置

最も数値が小さくなる場所で、プローブを雪面に対して垂直に差し込みます。プローブが埋没者の体にヒットしたら、掘り出しを始めます。

※[ortovox.com](http://ortovox.com) の SAFETY ACADEMY LAB では、雪崩の救助技術に関する役立つビデオをご覧ください。

## 複数埋没者の検索

埋没者の総数は、ディスプレイの下部に表示されます。トランシーバーは、次に近い犠牲者へと導いてくれます。

## フラグ機能

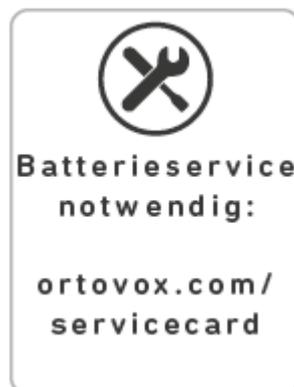
埋没者を発見したら、フラグ機能を使ってこの信号をクリアすることができます。これを行うには、5メートル以内の距離にいるときに FLAG ボタンを押します。当該埋没者はすぐにフラグで表示され、あなたは新たな次の埋没者を探すことができます。



## 継続的なサービス（点検）を受けるために

ORTOVOX の点検チームによる次回必要となるサービスを受ける時期は、機器の電源を切ったときに表示されます。夏場はこのサービスをご利用ください。「バッテリーサービスが必要です」と表示された場合は、必要な動作時間を保証するために、トランシーバーの検査サービスが必要です。

修理やサービス点検については、**ORTOVOX APP** をご利用いただくか、[ortovox.com/servicecard](http://ortovox.com/servicecard) をご覧ください。



## 保証について

保証期間は、購入日から 2 年間です。ORTOVOX APP または [ortovox.com](https://ortovox.com) からオンラインでデバイスを登録すると、保証期間が購入日から 5 年間に延長されます。また、登録することで、安全に関する情報をお届けすることができます。

バッテリーと充電ケーブル、および不適切な取り扱いや自然消耗による損傷は保証の対象外です。サービス点検は、欠陥のないトランシーバーを対象に受け付けさせていただきます。送料はお客様のご負担とさせていただきます。

## テクニカルデータ

モデル：ダイレクト / ダイレクト・ボイス

デジタルトランシーバー 3 本アンテナ

音声ナビゲーション（ダイレクト・ボイスのみ）

送信周波数：457kHz（国際標準）

サーチストリップ幅：最大 50m（ICAR 測定：AVA REC 0007）

RECCO ©リフレクター（キャリングシステムケースに搭載）

送信電界強度：457kHz：最大 7dB $\mu$ A/m（2,23 $\mu$ A/m 10m にて）

電源：リチウムイオン電池、3,7 V / 1100 mAh / 4,07 Wh

充電用ポート：USB C

動作時間 Bluetooth Low Energy 送信周波数：2.402 GHz -2.480 GHz Bluetooth Low Energy 送信強度：max. 0 dBm

温度範囲：-20 °C ~ +45 °C（4 °F ~ 113 °F）

寸法 7.9×12×2.3cm

重量：210g（+携帯用バッグ 80g）

適合性を含むその他の重要な情報は、付属の「リーガルガイド」に記載されています。

# ALWAYS UP TO DATE: THE ORTOVOX APP



- ・ダイレクトを簡単に調整できるアプリをダウンロードしましょう
- ・ 随時、ソフトウェアのアップデートが可能になります。
- ・ 保証期間を 5 年間に延長することができます
- ・ 製品情報を登録できます

[ortovox.com/direct-start/app](https://ortovox.com/direct-start/app)

日本語



**輸入販売元 株式会社マジックマウンテン**

**〒352-0011 埼玉県新座市野火止 2-8-5**

**TEL : 048-480-0088 FAX : 048-480-0089**

**Email : [info@magic-mountain.jp](mailto:info@magic-mountain.jp)**

**<http://www.magic-mountain.jp>**